特集　子どもたちの未来を拓く

ICT（情報通信技術）教育環境の充実

市内全小学校にタブレット端末と大型ディスプレイを整備

現代では、生活の中に溶け込んでいるICT。このような時代をうけて、以前にはないICTを使った教育が進められています。市内各小学校では、タブレット端末、大型ディスプレイ（大型提示装置）を活用した取り組みが始まっています。

木島小学校では、平成28年から2年間ICT推進校として取り組み、平成29年度からは、タブレットや大型ディスプレイをどの教科のどんな場面で活用できるか研究を進めています。

昨年9月に実施したプログラミングの授業でタブレットを操作する
木島小学校4年生の市川愛羽さんと石澤翔くん

木島小学校の国語の授業風景。（上）1年生の市川涼花さんは、「村」の「へん」と「つくり」の間をあけると違う漢字になるということを大型ディスプレイを使い説明。（右）3年生担任の塚本真里子先生がタブレットを操作し、子どもたちが大型ディスプレイを見ながら楽しそうに書き順を習っています。

プログラミング的思考を子どもたちに

プログラミング教育を通して育成する思考力「プログラミング的思考」。これは、プログラミングをする能力そのものではなく、国語や算数などの科目、日常生活、社会に出た後などあらゆる場面で生かすことのできる汎用的な能力です。

木島小学校では、文部科学省の補助金などを活用し、コンピュータを使った授業を行っています。このコンピュータは、LEDや各種センサーなどを接続してプログラムすることで、さまざまなものをつくることができます。木島小学校では、LEDを信号機のように点滅させるプログラムを作ったり、モーターカーにつないで走る速さと時間をプログラムしたりしました。

プログラムはいずれもキーボード付きのタブレットで入力します。プログラムは、命令が書かれたブロックを組み合わせるものです。

授業を担当した平田久貴先生は、「授業は試行錯誤しながら行っている。ゆくゆくは、子どもたちが自由にプログラミングできればいいと考えているが、今のところは、プログラミングを体験することでおもしろいと感じてもらえればいい。授業は、グループで行う。子どもたち自身が考え、仲間と協力しながら目標を達成できることが重要。」と話します。

木島小学校校長で、飯山市ICT活用研究委員会委員長の平野弘蔵先生からは、「大型ディスプレイが各教室に配備され、多くの授業で使われるようになった。先生方にはタブレットの活用をはじめとして、ICT機器を一層扱ってもらえるように研修の場を設けていきたい。また、子どもたちが自由に使いこなせるようになってもらえればと考えている。」と意気込みを語っていただきました。飯山市では、引き続き子どもたちが最新のテクノロジーに触れるよう、取り組みに力を入れていきます。

（左）タブレットを使い、モーターカーの上にあるコンピュータ（スタディーノ）に接続し、プログラミングをしている伊東きらりさんと藤巻光音君。（右）コンピュータのプログラミング制御画面。

子どもたちの可能性を拓き、国際化社会に対応できる人材を育てる

私たち、そして子どもたちを取り巻く環境は、以前より早いスピードで変化しています。北陸新幹線飯山駅開業により、飯山に海外から多くの観光客が訪れるようになり、海外の人と触れあう機会が増えています。また、ICTの進化は目まぐるしく、AI、自動運転、ドローンなど、最新のテクノロジーは、日々進化しています。その一方で、全国的な少子高齢化、人口減少など大きな問題に直面しています。このような、社会情勢により、将来を担う子どもたちへの教育のありかたについても、大きな変革期を迎えています。

情報通信技術に学校で触れられるよう、昨年12月に、市内の全小学校へのタブレット、大型ディスプレイ（大型提示装置）を整備しました。市では、平成28年度から飯山市ICT活用研究委員会を設置し、また、教員一人を大学で学ばせるなどし、環境整備を進めてきました。現在は各教育現場の実践で、最大限活用できるような取り組みについて、先生方が授業での指導を工夫しています。

英語でコミュニケーションが誰とでもできる時代に向け、ALT（英語指導助手）を2名増員し、市で6名とし、小学校では、英語の授業で毎時間ネイティブな英語に触れられるようにしたほか、今年度からは、英語指導の助言をする英語指導主事が各学校の英語授業を助言指導しています。

少子高齢化、IT技術の進化などにより、この先、今までになかったような、前例のない課題に直面することがあると思います。このような答えのない課題に対し、他者と協働しながら、自分で判断し、行動し、最善の方法をみつけなくてはいけない時代がきています。

この先の見えない課題に対し、力が最大限に発揮できるよう、また、乗り越えていけるよう、さまざまな可能性を秘めた子どもたちの未来を信じ、国際化社会に対応できる教育を目指しています。

飯山市教育長　長瀬　哲

市報いいやま
No.716
平成31年（2019）2月15日発行
発行人：飯山市長 足立正則
編　集：飯山市役所 総務部 企画財政課 情報政策係
印刷製本：有限会社 足立印刷所

もくじ Contents

特集　子どもたちの未来を拓く……2～5
平成31年の区長さんを紹介……6
飯山市消防団新体制紹介　ほか……7
「ガバメントクラウドファンディング®」を開始　ほか……8～9
飯山市保育園・学校課題検討委員会が答申……10
住みたい田舎ベストランキング飯山市が各部門ランクイン　ほか……11
お知らせ　ほか……12～15
観光交流都市情報　みゆき野かわら版……16

飯山市役所
〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
0269-62-3111（代表）
0269-62-5990（3F代表）
飯山市HP
http://www.city.iiyama.nagano.jp
E-mail
kikaku@city.iiyama.nagano.jp

特集　子どもたちの未来を拓く

国際化社会に対応できる教育

本物の英語を子どもたちへ
小学校ではほぼ毎時間 ALT（英語指導助手）が英語学習に参加できる環境へ

城北中学校の英語の授業風景。２年３組の生徒と、アレックス先生。

北陸新幹線飯山駅が開業し、駅のホームには、新幹線から降りる観光客が波のうねりのように押し寄せています。この中には、海外からの観光客も少なくありません。飯山市への移住者は、昨年は１１３人となり、その中には海外出身などの移住者もいます。

以前より確実に、英語についての必要性が増している現在において、子どもたちにより多くの生の英語や海外の文化を体験し、勉強してもらうために、ＡＬＴ（英語指導助手）を増員しました。これにより、より多くの生の英語に触れることができるほか、小学校では、ほぼすべての英語の時間にＡＬＴが授業に参加することができました。また、英語の授業に関して相談や助言をする英語指導主事を今年度から配置し、より手厚い指導ができるようにしています。

授業の様子

城北中学校２年３組の英語の授業は、新津一真先生とＡＬＴのアレックス先生が担当します。今回の授業のテーマは「選挙」です。このシチュエーションが独創性にあふれており、「このクラス全員が宇宙船で他の惑星に住まなくてはいけなくなった。」というもの。そこで選挙でリーダーを決めるため、公約等について、グループで話し合い、発表し選挙を行うものです。授業の大部分が英語で行われており、より実践に近い英語を多く体験できるものとなっています。生徒からは笑顔が見えるなど楽しい雰囲気の授業でした。生徒２人から話を聞くと「英語を話せるようになりたい」というのが共通した思いでした。

戸狩小学校６年生の英語は、担任の堀正則先生とＡＬＴのセイジ先生が協力して行います。今回の授業は、卒業式が近いということで「マイ　ベスト　メモリー（私の一番の思い出）」をテーマについて話すものです。英語を交え説明をする堀先生とセイジ先生のユーモアあふれる見本で、生徒たちも楽しそうに授業を受けていました。宮澤理紗さんは、「先生が海外の人だからとても新鮮だし、憶えることができる。世界中に知り合いを作って文化交流をしたい。」と将来について話します。また、木原綾香さんは、「将来は通訳になるのもいいかな。」と話してくれました。

大型ディスプレイにを見ながらの授業。
左からセイジ先生と戸狩小学校６年生担任の堀先生。

海外との交流

飯山市には、国際化に向け、子どもたちが海外と交流体験を通して学べる場があります。

中国深セン外語学校は、市内中学校と交流があり、ホームステイに迎え入れたり、ホームステイをしたり相互に交流をしています。同じく中国深セン市福田区とは、友好交流都市として、卓球を通した交流などがあります。

また、オーストラリア バサーストハイキャンパス校とも交流をしており、一年おきに、中学生と高校生の希望者を募り交流事業を実施しています。

飯山市は、今後も国際感覚を養い、誰とでも英語でコミュニケーションをとれるよう国際化社会に対応できる教育に力を注いでまいります。

戸狩小学校6年生
手塚 宗太さんに話を聞きました

「他の授業と比べて、断然おもしろい。」と答えた手塚宗太さん。英語の授業について聞くと、セイジ先生はいつも笑顔で授業が楽しいと話します。宗太さんは、野球が好きで、「将来アメリカに行く時があるかもしれない」と話し、将来の目的に向かって、英語の授業に取り組んでいる様子がうかがえました。

気軽に英語を話せる雰囲気を大切にしています
城北中学校担当 ALT のアレックス先生

楽しく英語を学べるように教材を準備したり、授業中にも生徒の目の高さで声がけすることに気を付けています。また、放課後も生徒の相談にのるなど、「使える英語」を身につけられるように支援しています。気軽に英語を話せる城北中の雰囲気を大切にしています。

ふるさと納税で全国から応援
「ガバメントクラウドファンディング®」を開始
大型雪像制作と小菅護摩堂の修理にかかる２事業を実施

企画財政課 ふるさと応援係　☎62-3111 内線 397・398

ガバメントクラウドファンディングを採用して、寄附を募集している（左）大型雪像と（右）小菅護摩堂

今年も全国から多くの応援

自分が応援したい自治体に寄附をすると、個人住民税が軽減される「ふるさと納税」制度。「今は住んでいないが、自分が生まれ育ったふるさとだから」、「お世話になった人がいるから」など、理由はさまざまです。情緒あふれる飯山の風景や魅力に惹かれ、飯山を応援したいという人からの寄附が、年々増えています。平成29年度、全国から集まったふるさと納税による寄附は、およそ5万3千件。金額にすると、約15億8千万円でした。

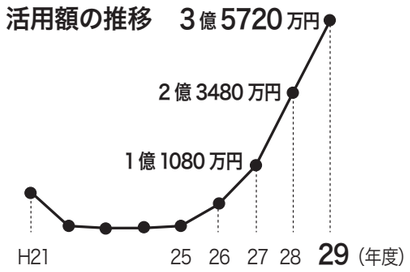
人気のNo.１「幻の米」

平成29年度は前年の11億円から大幅に寄附額が伸びましたが、平成30年度は寄附者へお送りする「お礼の品」に関するルールが厳格になったこともあり、平成29年度よりも減少が見込まれますが、県内他市町村と比べても依然多くの寄附をいただいています。今後も事業者の皆様と連携し、ふるさと納税を推進していきます。

◆ふるさと納税の活用事業

寄附金は、返礼品やふるさと納税推進に係る経費を差し引き積立金とします。

この積立から移住・定住や起業支援など「地方創生・まちづくり」、「自然・景観」、「文化・歴史」、「教育・福祉・子育て」の市が実施する事業に、平成29年度は、約3億5千万円が充てられました。



◆ガバメントクラウドファンディングの取り組み

これまで寄附募集は、返礼品を提示し、気に入った返礼品に応じた寄附をいただく方法が一般的でしたが、寄附金の活用をより明確にするため、市が支援してほしい事業を提示し、賛同いただいた方に寄附していただく「ガバメントクラウドファンディング」という手法を今年度から取り入れています。この募集での寄附は、寄附者の思いが反映され、自治体と寄附者との双方向での結びつきを強くし、事業のPRに大きな効果が期待されます。

現在は、雪まつりでの大型雪像制作と小菅護摩堂の修理にかかる2事業について受付中です。受付サイトでは事業の歴史や関係する人の言葉を添えてプロジェクトの紹介をしており、「返礼品はいらないので事業に役立ててほしい」という方も多くいらっしゃいます。市では今後もガバメントクラウドファンディングに取り組んでいく予定です。

寄附額等の推移

【単位：万円】

平成年度	寄附額	積立額
20	1億993	1億993
21	804	804
22	701	701
23	1,190	1,190
24	1,313	1,313
25	7,044	7,044
26	6億2,547	1億7,877
27	17億2,243	3億8,332
28	11億189	3億6,039
29	15億8,867	5億5,000
合計	52億5,891	16億9,292

◆ふるさと納税の推移と展開

平成20年度からスタートした飯山市のふるさと納税は、米をはじめとした飯山の特産品を返礼品として積極的にPRすることで平成25年以降年々人気が上昇。自治体間の競争が激しい中にあって全国的にも注目される存在に成長してきました。

今後もふるさと納税制度を活用し、より多くの方から応援していただけるよう知恵をしぼり取り組んでいきます。

子育て支援拠点　H30年6月竣工
飯山市子ども館「きらら」

移住定住住宅に改修サンコーポラス飯山

「教員になりたい」を応援します
飯山市育英資金奨学生募集

子ども育成課 学校教育係　☎62-3111 内線 361

長野県の公立小中学校教員になることを志し、平成31年度に短期大学または大学へ進学、在学する学生に対して、奨学金を無利子で貸与します。平成31年度の奨学生を以下のとおり募集します。

■申込資格

学校教育法による短期大学または大学の学生で、次の要件を備えている方

⑴飯山市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住していること、または居住していたこと

⑵成績が優秀であること

⑶本人及び親権者等に市税等の滞納がないこと

■主な提出書類

⑴飯山市育英生願書

⑵育英生推薦調書

⑶長野県義務教育諸学校の教育職員を目指す理由（４００字詰原稿用紙２枚程度）

※在学証明書・戸籍謄本・学業成績証明書を添付

■奨学生採用

選考は人物、健康、学力、家計等について行います。

■貸与金額　月額４万円以内

■返済方法

大学等を卒業後６カ月後から、貸付期間の２・５倍の期間で返済していただきます。

■申込期限　４月25日㈭

■その他

一定の要件を満たした場合、償還額の一部を免除する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

望ましい保育・教育環境の将来像

飯山市保育園・学校課題検討委員会が答申

子ども育成課 学校教育係　☎62-3111 内線 361

【最終答申】

新たな学習指導要領や、飯山市教育大綱が示す飯山市教育の目指す姿等を踏まえ、子どもたちの可能性を伸ばすための望ましい保育・教育環境の将来像を、次の3点とします。

1　夢に向かい、自分の道を切り拓き、未来を生き抜くための力が育つ環境づくり

2　ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ、飯山のために頑張れる子どもが育つ環境づくり

3　国際感覚を養い、新しい時代に生きる力と個性や多様性を尊重し、豊かな人間性をもつ子どもが育つ環境づくり

全国的に少子化が進む中、園児・児童・生徒数の減少に伴い、保育園、学校の小規模化が進行しています。

飯山市の子ども達にとって望ましい教育環境の将来像について、飯山市保育園・学校課題検討委員会に諮問し、1月17日に服部秀人委員長から答申が長瀬教育長に手渡されました。学校・保育園のあり方（抜粋）については、次のとおりです。

◆望ましい教育環境

○小学校教育のための児童数は、1学級20人以上、1学年2学級以上

社会適応力を身につけ、切磋琢磨し、多様な学習・指導を行うためには、一定規模の児童数が必要であり、バランスのとれた教職員配置等を考えた場合、1学年を複数学級とすることが学校運営において重要となり、1学級20人以上、1学年2学級以上が望ましい。

○小学校配置は充分検討し実施

適正児童数の確保、学校配置と併せ、通学距離・時間、また低学年児童の体力等を考慮し、適正な位置に配置する必要がある。

○中学校教育のための生徒数と配置は、1学級30人以上、1学年2学級以上

生徒の興味・関心・意欲等が多様化する時期であり、学習面と併せ、学校行事や部活動、生徒会活動なども生徒にとっては大変重要なことから、中学校は小学校以上に一定規模の生徒数と複数学級の編成が求められることから、1学級30人以上、1学年2学級以上が望ましい。

◆望ましい保育環境

○小学校区単位を基本とした規模と配置。飯山小学校区内は、あきは保育園としろやま保育園を統合。

3歳以上児は集団活動の充実を図るため、一定規模の園児数が必要となる。3歳未満児は発達に応じた保育を行うため、できる限り年齢別にクラスを分けることが望ましい。また、各種行事等の運営などからも、一定規模園児数の保育園運営が必要となる。園児の多くが区域内の小学校に就学していることから、小学校区単位を基本とした規模の園児数による保育園運営が望ましい。飯山小学校区には、公立保育園が2園ある。一定規模の園児数を確保する観点から2園を統合し、2021年4月にしろやま保育園施設に新たに開園することが望ましい。

今後は、この答申内容を尊重しながら、具体的な学校・保育園の規模や配置等について、「保育園・学校適正規模等検討委員会（仮称）」を設置し、各種状況を踏まえ、保護者や地域住民の意見を聞きながら検討します。詳しくはホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

QR コードでホームページをチェック！

住みたい田舎ベストランキング飯山市が各部門ランクイン

若者世代への通勤・就労・住宅などの支援が評価

地方への移住を検討されている方に人気の月刊誌『田舎暮らしの本』2月号（1月4日発売）で発表された「2019年版 第7回 住みたい田舎ベストランキング」で、飯山市は昨年度より順位を上げて各部門にランクインしました。若者世代が住みたい田舎部門では、甲信エリアで1位となりました。

○評価のポイント

「新幹線通勤補助金」「新卒者JR通勤補助金」「奨学生就職応援金」といった若者世代への補助金や、若者住宅、婚活イベントの実施、結婚祝い金などが評価されたポイントです。また、空き家バンク物件成約数の増加（前回9軒、今回21軒）、移住希望者向け住宅、起業や就農を支援する研修や補助金なども評価されたポイントです。各世代移住者数が大幅に増加している点も評価されています。移住者数に関しては、今回から各市町村の人口に占める移住者数の割合を算出して評価されることになり、移住先としての魅力がより正確に反映されるようになりました。

今年度の移住者数は過去最高を記録した昨年度の88人を上回る勢いで推移しています。市外での移住相談会の開催数を増やし、飯山市をより積極的にPRしてきたこともランキング上昇の要因となっています。なお、全国の「移住相談会の開催数が多い部門」では全国1位（前回2位）になりました。

宝島社『田舎暮らしの本』2019年2月号

JA全農長野東京事務所関係者との懇談

JAながのとともに

飯山市農産物をトップセールス

市場からさらなる増産・安定供給の要望

1月30日、31日と2日間にわたり、JAながのとともに、飯山市産農産物について、トップセールスを行いました。

JA全農長野東京販売事務所との販売情勢について、関係者との懇談のほか、豊洲市場 東京シティ青果㈱、太田市場 東京青果㈱のそれぞれの関係者と懇談しました。

市場関係者からは、「飯山の農産物は大変好評をいただいている。さらに増産と安定供給をお願いしたい。」と要望がありました。

それに対し、足立市長は、「JAながのと連携し、青果物の安定供給増産に向け、支援策を引き続き行っていく。」と説明し、併せて飯山市の農産物についてPRしました。

飯山プラスラボが

「いいやま雪ざんまい」を初めて開催

飯山プラスラボが、なちゅらを会場に、1月26日・27日に「いいやま雪ざんまい」を初めて開催し、2日間で約2千人がイベントを楽しみ、海外の方の来場者も多く見受けられました。

主催した飯山プラスラボは、飯山市と若者会議、市民交流姉妹都市の大阪市の大学生で構成する都市コミュニティ研究室がお互いの資源、文化、知識をミックスさせ、地域に新たな風を吹かせる研究機関です。このイベントを行うにあたり、テレビ会議を重ね準備を行ってきました。

イベントでは、坊主バー、忍者に変身できるスノー忍者、カンジキ作り体験などが行われました。市内のバナナボートを集めたコーナーでは、2日間で約300個が完売するなど盛況でした。

日本一ありがたいかまくら「らほつかまくら」が来場者を歓迎

65歳以上の方が対象

基本チェックリストの分析が進んでいます

地域包括支援センター ☎62-3111 内線 183・186

飯山市は、65歳以上の高齢者が占める割合が37.0％を超え、「超高齢社会」を迎えています。いつまでも健やかに自分らしく暮らすために、今の生活を振り返る【きっかけ】として、市では毎年、65歳以上で要介護認定を受けていない方を対象に、心身の状況や日常生活の様子をうかがう「基本チェックリスト」（25項目の質問に「はい」「いいえ」で答えるもの）を配布し、回答結果によって介護予防事業への参加を勧めています。

昨年7月、市は学校法人四徳学園　長野保健医療大学と連携に関する協定を締結し、今後の介護予防施策に活かすため、この「基本チェックリスト」の分析を行っています。今回は、分析結果の一部をご紹介します。

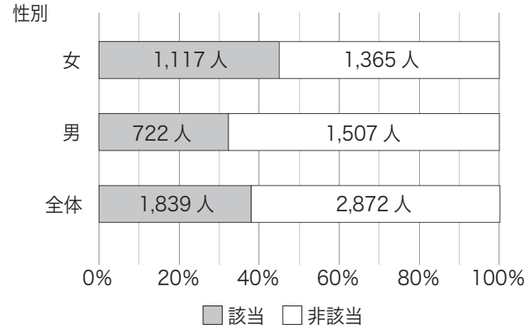
二次予防事業対象者基準の該当者

平成26年度に「基本チェックリスト」調査に回答された4,711名（男2,229名、女2,482名）の中で、国が当時「要介護状態となるおそれが高い状態」とした【二次予防事業対象者】に該当する方の数を求めました。

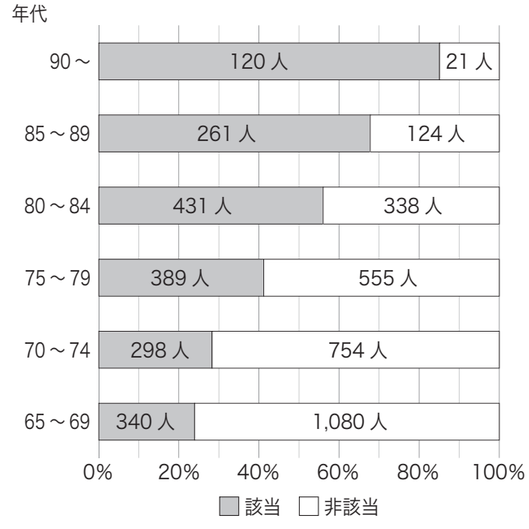
【二次予防事業対象者】とは、「生活機能（項目1～20のうち10項目以上に該当）」、「運動器機能（項目6～10の3項目以上に該当）」、「栄養状態（項目11，12の2項目に該当）」、「口腔機能（項目13～15）の2項目以上に該当」の4基準のいずれか1つ以上に該当した方を指します。

対象者となった方は、女性では1,117名（45%）、男性では722名（32.4%）でした。年代別では、75歳未満で20～30%、75～79歳で約40%、80歳以上では50%以上で、該当した基準は多い順に、運動器機能1,256名（26.7%）、口腔機能789名（16.7%）、生活機能530名（11.2%）、栄養状態482名（10.2%）、でした。該当した基準が1つの人は1,050名、2つ421名、3つ307名、4つ61名でした。

男女別



年代別



【結果のまとめ】

1　介護保険サービスを受けずに地域生活を送っている**65歳以上の男性の32.4%、女性の45%が「要介護になるおそれ」が高い**と考えられました。

2　「要介護となるおそれ」のある人は、**75歳を越えると増え始め、80歳を過ぎると2人に1人が「要介護のおそれ」がある状態**でした。

3　「要介護となるおそれ」の原因は**足腰（運動器）の衰えが最も多く**みられました。

基本チェックリストは、自分では気づきにくい心身の衰えを早期に発見できる手段のひとつです。早めに衰えに気づいて改善に努めれば、心身の機能を維持・向上することができます。分析は今も続いており、今後もさまざまなことが明らかになりますので、結果が整い次第、市報等を通じて市民の皆様にお伝えしていく予定です。この分析結果を活かし、多くの皆様が元気で、住み慣れた地域でいきいき暮らし続けることができるよう、事業に反映していきます。

市民の皆さんの転出・転入の届出が増える3月17日・24日・31日に臨時日曜窓口を開設します

市民環境課 市民係 ☎内線 151・156

平日、市役所に来庁できない方や急な引っ越しに伴う手続きなどをする方は、取扱業務や持ち物等をご確認のうえご来庁ください。また臨時日曜窓口では、「転出証明書」など、ご本人や同居の親族以外には発行できない証明書があります。詳しくは市民環境課へお問い合わせください。

■臨時日曜窓口開設日
3月17日(日)・24日(日)・31日(日)

■開設時間
午前8時30分から正午まで

■取扱業務内容
○転出、転入、転居届など住民異動に関する届書の受理
○各種証明書の発行（戸籍・除籍・住民票・印鑑証明等）
○印鑑登録（新規、亡失、変更）の受理
○国民健康保険証の発行・回収（転入・転居・転出に伴うもの）
○各種戸籍届書の受理
○マイナンバーカード交付
（3月24日、31日のみ）
受付時間は、8時30分から11時30分まで。申請済みで、マイナンバーカード交付通知書を受けている方に限ります。交付通知書（はがき）に書かれている持ち物を持参のうえ、ご来庁ください。

■持ち物
○印鑑（認印）
○本人を証明する顔写真付きの公的機関発行の証明書（運転免許証等または、保険証など二種類以上の本人確認できるもの）
○国民健康保険加入者は国民健康保険証
○市外から飯山市へ転入される方は、他市町村発行の転出証明書

■対応できない業務
○マイナンバーカードまたは住民基本台帳カードによる特例の転出・転入手続き
○車両の臨時運行許可
○改葬許可
○社会保険資格の取得・喪失に伴う国民健康保険の手続き
※その他、開庁日とは異なり対応できない業務がありますので、事前にご確認をお願いします。

土曜日の証明窓口

【発 行 日】　毎週土曜日（祝日を除く）
【受付時間】　午前8時30から正午まで
【発行できる証明の種類】
・住民票の写し・戸籍謄本・戸籍抄本
・印鑑登録証明書
【受付窓口】　市役所1階市民環境課窓口

安い会費で大きな安心
長野県民交通災害共済

市民環境課 市民係 ☎内線 151・156

県内15の市が共同で行っている共済です。会費を納めて会員になった方が、万一交通事故にあったときにお見舞金を支給する制度です。

会費　1人年額400円。市内保育園・幼稚園の園児および小・中学生は、学校（園）での団体申し込み（1人年額100円）。

申込　今月各家庭にお配りした申請書をご確認のうえ、会費を添えて区長さん、または金融機関へお申し込みください。現在会員の方も新たに手続きが必要です。

3月は「ごみ減量推進月間」です

市民環境課 生活環境係 ☎内線 191・192

3月1日から31日までの1カ月間を「ごみ減量推進月間」とし、ご家庭や事業所から排出されるごみの減量と、適切な分別による資源物のリサイクルを進めるため、広く呼びかけを行います。日々、身の周りでごみ減量につながることはさまざまあると思いますが、できることからコツコツと積み重ねをお願いします。なお、期間中は特にもえるごみの減量を推進するため、次の2点にご協力をお願いします。

①生ごみの減量にご協力をお願いします
指定袋に入れる前に十分に水を切る、コンポスト容器や生ごみ処理機等を利用して堆肥化するなどの方法で、生ごみの減量にご協力をお願いします。料理を作り過ぎない、食べ残しをしない、といったことも生ごみの減量につながります。

②資源物をもえるごみで出さないようお願いします
日頃から分別収集にご協力をいただいておりますが、分ければ資源となる古紙やプラスチック製容器包装が、もえるごみの中に混入している状況がまだまだ見られます。ごみを正しく分別することはごみ減量への第一歩です。指定袋へ入れる前にもう一度確認をお願いします。

3月のU・Iターン移住相談会、移住セミナーのお知らせ

移住定住推進課　移住定住係　☎内線254・255

移住定住推進課では、飯山市へUターン、Iターンを希望されている方を対象に、東京や飯山市役所などで移住相談会を開催しています。仕事や住まい、子育てのこと、雪国の暮らしなど、個別にじっくりご相談いただけます。

東京・銀座NAGANO
■開催日時
・3月9日(土)、23日(土)
午後1時から午後4時まで
■会場
銀座NAGANO　4階
コワーキングスペース
東京都中央区銀座5丁目6-5 NOCOビル

東京・ふるさと回帰支援センター
■開催日時
・3月22日(金)
午後3時から午後6時まで
■会場
NPOふるさと回帰支援センター（東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階）

飯山市役所
■開催日時
・3月の平日限定
午前10から午後8時まで
※相談会は1回1時間。各時間1組限定です。事前にご予約をお願いします。

東京で移住セミナーを開催「北信州いいやま百姓塾」

飯山に移住して新規就農された中居正人さんを講師に迎え、「北信州いいやま百姓塾」と題した田舎暮らし&就農セミナーを開催します。飯山暮らしの楽しみや、農業実践談などをお話しいただきます。
■開催日時
・3月9日(土)
午後0時30分から午後3時30分まで
■会場
NPOふるさと回帰支援センター
※移住相談会、セミナーの詳細・お申込みは移住定住推進課までご連絡いただくか、「いいやま住んでみませんか？飯山市ふるさと回帰支援センター」サイトをご覧ください。
https://furusato-iiyama.net

QRコードでホームページをチェック！

自動車事故による被害者援護制度のお知らせ

(独)自動車事故対策機構長野支所　☎026-480-0521

【介護料の支給】
自動車事故により「脳」、「脊髄」、「胸腹部臓器」を損傷し、重度の後遺障害を持つため、日常生活動作について介護が必要となった方が対象。
○特Ⅰ種　6万8440円～13万6880円
○Ⅰ種　5万8570円～10万8000円
○Ⅱ種　2万9290円～5万4000円

【交通遺児等への育成資金の無利子貸付】
自動車事故により保護者が亡くなられたり、重度後遺障害を残すこととなったご家庭の中学校卒業までのお子様を対象に、育成資金の無利子貸付を行う。
○貸付金（無利子）
一時金　15万5000円
毎月　1万円または2万円
入学支度金(小中学校入学時)　4万4000円
○返還方法
原則20年以内での均等払い。（進学・病気等による返還猶予制度あり）
※詳しくはお問い合せください。

70歳からの元気はつらつ講演会を開催します

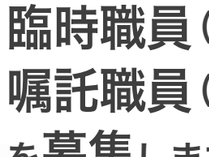
地域包括支援センター　☎内線183・186

■日時
3月15日(金)　午後1時30分から午後3時30分まで
■場所
飯山市公民館　2階　講堂
■内容
・第1部
(午後1時半から午後2時まで)
高齢者の権利擁護について
・第2部
(午後2時から午後3時30分まで)
講演　死ぬまで元気で！
講師　飯山赤十字病院
名誉院長　古川賢一　先生

猫の講習会を開催します

長野県動物愛護会北信濃支部事務局　☎(62)-6035

長野県動物愛護会北信濃支部では、猫の習性や疾病などを学ぶことを通じて正しい飼養方法や関わり方を知ることを目的に、猫の講習会を開催します。人と猫が共生できる社会を目指すため、猫に関する正しい知識を身につける講座（創作実技やスポーツなど活動講座を選択して行う講座）社会参加活動を実践する講座（社会参加活動を



長野県シニア大学学生を募集します

長野県シニア大学北信学部　☎(62)-3725

■入学資格
概ね50歳以上の県内在住者
■募集人員
北信学部　60人
■学習主会場
飯山市公民館（入学式・卒業式は長野県飯山庁舎で行います。）
■学習期間
2年
■学習時間
年間15日×4時間／日
■学習内容
教養講座（知識や教養を身につける講座）選択講座（創作実技やスポーツなど活動講座を選択して行う講座）社会参加活動を実践する講座（社会参加活動を
■授業料
年額1万円（予定）このほかに、教材費や自治会費等の費用が必要です。
■募集期間
2月1日(金)～3月15日(金)
■募集案内入学願書
募集案内・入学願書は、北信保健福祉事務所（福祉課）、市役所において配付します。（1月中旬～）長野県長寿社会開発センターのホームページにも掲載します。
■申込み先
入学を希望する各学部（北信保健福祉事務所福祉課）または市役所へ入学願書を持参または郵送してください。（3月15日の消印有効）
■入学決定
3月下旬に各学部から通知します。
■その他
詳しくはホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

QRコードでホームページをチェック！

臨時職員（事務職・看護師）嘱託職員（保健師）を募集します

庶務課 庶務係　☎内線333

■事務臨時職員（4月から勤務）
○主な職務内容
書類の印刷、コピー、窓口の応対、伝票起票、パソコンを使って書類等の作成等
○勤務形態と賃金
1カ月の出勤日数は19日。時給849円
（月19日勤務した場合12万5,016円）
○勤務時間
午前8時30分から午後5時15分（1日7時間45分）原則土日祝日の勤務や残業はありません。
※申し込み締切日は3月5日(火)、面接試験日は3月中旬です。

■看護師臨時職員（随時募集）
○主な職務内容
介護予防ケアマネジメント業務、高齢者等の相談業務等
○勤務形態と賃金
1カ月の出勤日数は19日。時給1,085円
（月19日勤務した場合15万9,766円）
○勤務時間
午前8時30分から午後5時15分（1日7時間45分）原則土日祝日の勤務や残業はありません。

■保健師嘱託職員（随時募集）
○主な職務内容
障がい者ケア会議、コミュニケーション支援に関する業務等
○賃金
月23万100円、期末手当（6月、12月）
○勤務時間
午前8時30分から午後5時15分（1日7時間45分）原則土日祝日の勤務はありません。
※ハローワーク紹介状をご持参ください。

飯山市消防団員随時募集しています

危機管理防災課　☎内線370・371

飯山市消防団では、消防団員を随時募集しています。男性も女性も消防団に興味のある方、地域の安心、安全に貢献したいと思う方は、お近くの消防団員か飯山市消防団事務局（危機管理防災課）までお問い合わせください。
皆さんのご応募をお待ちしております。

水道検針業務委託員を募集します

上下水道課 業務係　☎内線224

上下水道課では、4月から水道のメーター検針業務を行っていただく委託員を新たに募集します。詳しくはお問い合わせください。

■募集人数　1名
■応募資格　飯山市内在住のおおむね60歳未満の方で、自家用のバイクまたは自動車で検針ができ、健康で長く勤務できる方。
■業務内容　各戸の水道メーターの検針。偶数月は10日程度、奇数月は4日程度の業務従事となります。なお、1月から3月までの冬期間は検針を行いません。
■委託料金　年間80万円前後（件数による歩合制）
■応募方法　市販の履歴書に記入のうえ、上下水道課に提出または郵送してください。追って面接等についてお知らせします。
■応募締切　3月4日（月）　当日消印有効